



Nishitokyo City
西東京市

議会だより

第67号

平成27年11月15日
(2015年)

〒188-8666 西東京市南町5-6-13

042-464-1311

編集/議会報編集委員会

発行/西東京市議会

「第4回議場コンサート」を開催しました

市議会に親しみをもってもらいたくため、議場を会場とした「議場コンサート」を開催しました。

当日は幅広い年齢層の皆さんにお越しいただき、東京ニューシティ管弦楽団のメンバーによる弦楽四重奏の演奏に会場からは絶賛の拍手が送られました(詳しくは、9面「議会NEWS⑤」をご覧ください。)

(平成27年8月31日撮影)

平成27年
第3回
定例会

第3回定例会

会期…8月28日(金)～9月30日(水) 34日間

	審議件数	可決・採択 ※	否決・不採択	継続
市長提出議案	27	27		
条例	13	13		
予算	6	6		
決算	7	7		
その他	1	1		
議員提出議案	7	5	2	
陳情	5	2	2	1

※「可決・採択」には、認定、趣旨採択を含んでいます。



主な議案等

平成26年度一般会計・特別会計決算を認定

一般会計の決算(歳入決算額は687億6,897万8,729円、歳出決算額は673億4,870万7,410円)を認定し、6つの特別会計の決算についても認定しました。

7面へ

平成27年度一般会計・特別会計補正予算を可決

一般会計の歳入歳出について、それぞれ16億1,805万8,000円を追加するとともに、5つの特別会計の歳入歳出についても増額補正することを可決しました。

7面へ

市議会議員、特別職の給料等を改定

市議会議員の議員報酬のほか、市長、副市長及び常勤の監査委員並びに教育長の給料を引き下げ、期末手当は年間支給月数をそれぞれ0.25月分引き上げるもので、年間支給額としては引き下げとなる内容の改正案を可決しました。

8面へ

「市民会館、中央図書館・田無公民館合築複合化については、時間をかけ慎重に検討することを求める決議」を可決

市民会館、中央図書館・田無公民館の3館合築複合化について、市民参加や議会議論を重ね、時間をかけて慎重に検討することを求める内容の決議を可決しました。

9面へ

10面	9面	8面	7面	6面	5面	4面	3面	2面
議案の議決結果一覧 陳情の結果 今定例会で可決した意見書・決議 次定例会のお知らせ 第3回定例会会議録の公開予定 会議の開催状況 編集後記	決議 議会NEWS ③市議会の流れ ④議会を傍聴しませんか ⑤第4回議場コンサート	委員会の審査から 委員会視察REPORT 企画総務委員会 議会NEWS ②平成26年度視察受入状況	決算・予算特別委員会の審査から 公募写真	一般質問の要旨 小林 たつや 遠藤 源太郎 浅野 高司 用語の解説 議会NEWS ①採択された陳情への市の対応	一般質問の要旨 桐山 ひとみ 小峰 のりかた 浜中 和美 酒井 ごう一郎 田中 のりあき 保谷 なおみ 議員(みらい) 議員(みらい) 議員(自民) 議員(自民)	一般質問の要旨 山崎 英昭 たかしま 喜重 かとう 涼子 後藤 ゆう子 納田 さおり 大竹 あつ子 議員(無所属) 議員(ネット) 議員(ネット)	一般質問の要旨 藤田 美智子 佐藤 公男 森 勝己 保谷 清明 藤谷 智明 議員(公明) 議員(公明) 議員(共産)	一般質問の要旨 森 てるお 坂井 信一 二木 かずひこ 田代 孝之 大光 伸之 議員(無所属) 議員(民主改) 議員(民主改) 議員(公明)

紙面の紹介(もくじ)

「声の市議会だより」をお届けしています。
(録音テープ)

お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら
谷戸図書館(☎042-421-4545)へお問い合わせください。

一般質問 (1)

一般質問の要旨

第3回定例会で27人の議員が行った一般質問の主な内容です。掲載内容は、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。
質問の詳細は会議録に掲載しています。会議録の公開予定等は最終面「第3回定例会会議録の公開予定」をご覧ください。

凡例

Table with 2 columns: Party Name and Abbreviation. Includes 自由民主党西東京市議団 (自 民), 西東京市議会公明党 (公 明), etc.

3館合築の是非は市民が決める！市民だましの行政は許さない！

森 てるお (無所属)

質問 市民を置き去りにした行政主導の市政が行われている。庁舎統合問題の市民説明会に4回出席した。庁舎統合に課題はあるが、田無公民館・中央図書館・市民会館の3館合築についての質問が多かった。市民の皆さんの意見を聞いて決める行政は許さない。合築の懇談会とは何か。

回答 基本プランを作成するだけの懇談会は、3館合築が採用されないとなれば大きな無駄だ。市民説明会では「合築はまだ決まっていない」と説明している。

質問 3館合築の方針は決定しており、それを前提に懇談会での議論を経て詳細基本プラン策定懇談

回答 3館合築は決まっていない、市民に意見を聞いて今後決める」と答弁している。行政が決めて市民は細々としたことに参加するだけ。だから行政主導だと指摘している。市民をだまして「実は市の方針は決まっていた、その範囲内での答弁だ」と後から言うって通用するのか。行政の物事を決める手順が根本的に間違っている。

保育園の質を重視した職員体制！世界に通用する子どもを育てよ！

森 信一 (民主改)

子ども・子育て支援制度について

質問 保育園の質を確保するために、特に看護師、調理作業員などの職員配置や処遇改善及び人材確保等が適切に行われているか。

回答 市の定員適正化計画などの整合性を図りながら整理する。

意見 定員適正化計画の枠にはめずに、看護師は各園必ず1名、調理作業員は正規職員を1名以上残すことを要望する。

質問 介護労働者の処遇及び職場環境の実態について

回答 介護事業所の職員の離職が後を絶たないと聞くが、対策等はあるか。

質問 介護労働者の処遇及び職場環境の実態について

回答 介護事業所の職員の離職が後を絶たないと聞くが、対策等はあるか。

質問 介護労働者の処遇及び職場環境の実態について

回答 介護事業所の職員の離職が後を絶たないと聞くが、対策等はあるか。

質問 介護労働者の処遇及び職場環境の実態について

回答 介護事業所の職員の離職が後を絶たないと聞くが、対策等はあるか。

質問 介護労働者の処遇及び職場環境の実態について

回答 介護事業所の職員の離職が後を絶たないと聞くが、対策等はあるか。

サービス付き高齢者向け住宅と地域医療の連携強化を問う

二木 孝之 (民主改)

質問 高齢者の居住の安定を確保することを目的として、介護・医療と連携したサービスを提供する「サービス付き高齢者向け住宅」の都道府県知事への登録制度が創設された。しかし、登録基準は、「少なくとも

安否確認及び生活相談サービスを提供すること」となっている。市内のこの住宅への入居者の現況はどのようなになっているのか。また、市はこの住宅とどんなかかわりを持ち、地域医療との連携強化に向け対応

しているのか。
回答 5月現在、医療介護併設型1カ所を含め9カ所、約350戸の登録がある。入居者のうち自立の方は約1割、要介護認定者は約9割である。現在、都の立ち入り検査へ市は同行していないが、検査業務は市に移管されると聞いている。今後は、要介護度の重度化等に対応できる体制を構築していくこ

とが課題と考えている。
質問 本市のがん検診対象者の条件は、3月31日時点の「年齢が偶数の方」のみが受診資格者とされている。受診率向上のために、「前年度に受診していない方」と平成28年度から改めるべきと考える。検討状況は。
回答 検診医療機関の受け入れ体制などを考慮に入れながら検討したい。



オリンピックに対する取り組みははなバスの見直し、ベンチ設置を

坂井 かずひこ (民主改)

質問 本市の東京オリンピックへのこれまでの取り組みを伺う。

市長 平成26年度は2020年東京オリンピック・パラリンピックの気運醸成を目的に、「1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念写真展」をスポーツまつり等各種イベント会場や田無・保谷庁舎で行った。また、「1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念事業ファミリースポーツデー」では、男子体操競技メダリストや、女子車椅子バスケットボールチーム等をお招きし、オリンピックと一緒に親子運動遊びや、車椅子

バスケットボールミニゲーム等を行い、約90名の親子の方々の参加があった。
質問 特に高齢者が多く利用する、はなバスのバス停へのベンチ設置について伺う。

市長 田無駅北口のはなバス停留所へのベンチ設置については、歩行者などの円滑な通行への影響等の課題を整理するとともに、利用者の利便性の向上に向け、民間路線バスの取り組み等も参考にしながら、引き続き、検討する。民間バス事業者に対しても、これまでさまざまな機会を通じて、バス停へのベンチ設置の要

請を行っている。

子どもから高齢者まで安心して豊かに暮らせるまちづくり

大林 光昭 (公明)

質問 都市計画マスタープランを踏まえ、平成37年度に向けた田無駅南部地域、西武柳沢駅南口周辺のまちづくりの取り組みを問う。

回答 田無駅南部地域は、豊かな地域コミュニティが育まれるコミュニティ施設の充実を努める。西武柳沢駅南口は、駅周辺の住民が日常生活などのふだんの買い物を駅周辺で済ませられる商業施設の集積を目指す。

質問 戦後70年。平成26年にNGOによる「平和の文化と子ども展」が開催され

たが、本市の平和都市交流の取り組み状況を問う。

回答 広島平和の旅を実施し、式典参加や被爆体験者講話などに取り組んでいる。講話などに取り組んでいる。講話などに取り組んでいる。講話などに取り組んでいる。

質問 戦後70年。平成26年にNGOによる「平和の文化と子ども展」が開催され

たが、本市の平和都市交流の取り組み状況を問う。



平和事業の一環として実施「広島平和の旅」

一般質問 (2)



観光・防災情報アプリ「いこいな西東京ナビ」

こもれびホール20周年に向けて市民参加の企画を！
【質問】平成30年に20周年を迎えるこもれびホールを、

未来の市民にも喜んでもらえる中央図書館のあり方を検討せよ！

佐藤 公男(公明)

これまでと同様市民とともに企画すべきと考え、
【答弁】20周年に向けこれまで以上に市民が活用できる

よう、こもれびホールの活性化につなげていきたい。
【質問】地下活用システム導入を、
【答弁】庁舎内に地下活用システムを導入し、災害時の災害対策本部や周辺住民への給水、平常時でも使用することにより、水道料金を引き下げる

AEDのコンビニ設置で24時間救命体制を

藤田 美智子(公明)

【質問】AEDは心肺停止状態の人に電気ショックを与え救命する医療機器。平成16年に市民に解禁された。以来、世界一のAED普及国となったが、年間7万人が突然心停止となっている。一般市民にAEDが使われるケースは全国で4%。市内106カ所にAEDがあるが、夜間使える場所はない。24時間利用可能なコンビニにAEDを設置すべきと考えるが見解を問う。
【市長】他市の事例や経費を踏まえ検討する。
【意見】市民が救命講習を受ける環境整備を推進せよ。
【質問】これまで市民の健康保持・増進や社会保障費抑

制のためにも、レセプト・検診データを活用し、疾病予防対策に取り組むべきと訴えてきた。進捗状況は。
【市長】特定健診・保健指導情報・医療レセプト情報・介護保険情報を活用できるKDBシステムを導入し、糖尿病の重症化予防等、個人に対する効果的な保健事業を実施していきたい。
【質問】調布市の児童死亡事故以来、保育園・小中学校の食物アレルギー対策を完全に訴えてきた。現状は。
【市長】公立昭和病院のアレルギー専門医と小中学校・保育園とのホットライン(直通電話)を9月から活用できるようにした。

障害者就労支援に全力を尽くせ！西武新宿線・池袋線を立体化に！

小幡 勝己(公明)



【質問】待機児童対策に全力を尽くせ。
【答弁】多くが0歳から2歳である。地域の状況に留意し保育所等を整備する。
【質問】平成28年施行の障害者差別解消法を周知せよ。
【答弁】非常に重要な法律であり、普及啓発に努める。
【質問】障害者の願い「働き

たい」に全力支援せよ。
【答弁】障害者支援センター一步で個々に応じた支援を行う。
【質問】理科離れが進む中、多摩六都科学館との連携を。
【答弁】共同して市内学校で先進技術に触れる取り組みを調整する。
【質問】平成28年度「義務教育学校」として制度化されるが、検討状況は。
【答弁】平成27年度、中間報

地域の防災対策として地震ブレイカー設置普及を求める

森住 孝明(共産)

【質問】近年の大規模地震発生時は、電気を起因とする火災が特徴的である。国では地震ブレイカーのガイドラインをまとめた。市としてどう考えるか。
【答弁】普及啓発について検討していきたい。
【意見】市民の命と安全を守る上で、防災と災害対策の一つとして重要な施策である。今後、地震ブレイカー設置の導入や財政的支援などを含めて具体的に検討することを求める。

【質問】空き家対策の市の現状と今後の対策について
【答弁】都営住宅の跡地活用について
【意見】コミュニティタクシーの運行について
【質問】平和事業について

【質問】中央図書館のあり方について
【答弁】建替えについて市も加盟している日本図書館協会の基準があるので、その重要性とあるべき姿が語られなければならない。未来の市民に喜んでもらえる施設になるよう検討すべき。
【答弁】利用者要望に応える

【質問】特別教室の空調機の早期設置を求める。
【答弁】東京都の支援対象が広がった。未設置教室が110教室あるので、調査・検討する。
【質問】国会図書館資料を市内の図書館で閲覧できるようにせよ。
【答弁】閲覧・複写サービスの早期開始を目指す。
【質問】田無駅東側の踏切等西武新宿線・池袋線の立体化を目指す。
【答弁】引き続き東京都に早期の事業化を要望する。

国の介護保険改悪から利用者と事業者を守れ！

保谷 清子(共産)

【質問】介護度「要支援1・2」の訪問・通所介護が介護保険から外され、平成28年4月より、市の「新総合事業」へ移行する。移行後も現在と同程度のサービスが受けられるよう求める。
【答弁】基準の詳細を検討しているところである。
【質問】介護事業者は、介護報酬単価引き下げで収入が減り、事業を続けられないところもある。事業者の実態調査を求める。
【答弁】国の調査結果を注視し、情報収集に努める。
【質問】難病者福祉手当について
【質問】難病者福祉手当は、今後あり方を検討するとしているが、現制度の存続を

求める。
【答弁】難病者支援の視点をもち、慎重に検討する。
【質問】都立東伏見公園への市民要望「複合遊具・屋根つきベンチの設置を」、「東側にもトイレを」などを東京都に伝えよ。
【答弁】要望や苦情については東京都に適宜伝える。
【質問】10月から廃止され、機械貸し出しとなる。サービス低下にならないよう求める。
【答弁】利用時間を拡大し、児童館に児童書を中心に読書スペースを確保する方向で協議を進めている。

公共施設は利便性の高い場所に3館合築の押し付けはやめよ

藤岡 智明(共産)

【質問】市民会館・中央図書館・田無公民館3館合築基本プラン策定懇談会において、位置問題について見解の相違がある場合、どのように意見を整理するのか。
【答弁】3回の懇談会では位置問題を含めさまざまな意見が出ている。懇談会での議論の推移を見守りながら、庁舎統合方針決定に向けて取り組む。

【質問】ひばりが丘公民館分室化方針は、分館長引き揚げ、嘱託員配置、管理運営は柳沢公民館が担うという内容である。この地域は子育て世代急増地域であり、利用者も増加傾向にある。公民館事業の後退につながることを懸念し、見解を問う。
【答弁】公共施設の適正配置推進実行計画により、近接する各戸公民館との一体的運用、効率化を図るため検討している。4回の利用者懇談会を開催、意見交換を実施、引き続き丁寧な説明、意見交換に努めたい。
【意見】慎重な議論を積み重ね、利用者の声をしっかりと聞き、白紙撤回も必要だ。



一般質問(3)

貧困家庭の子どもの支援を急げ！
泉小跡地を市民のスポーツの場に

大竹 あつ子(共産)

質問 6人に1人の子どもが貧困と言われる。貧困は学習する環境や意欲を奪い、孤立させ、貧困の連鎖を生む。そうした子どもに向けた学習支援・居場所づくり、食事提供などの支援の拡充が必要だ。見解を求めます。

答弁 国や都の動向に留意し検討を進めます。

質問 夜間保育や子どもの居場所が緊急に必要だ。トワイライストの検討状況は。

答弁 利用者の要望や委託事業者の協議が必要になる。
意見 子どもの貧困は教育の面、保育の面など一つの課にとどまらず、全市的な支援が必要だ。全市的に子

どもを見守る体制の構築を早急に求める。
質問 泉小跡地には市民からボールが使えるグラウンドの設置の要望が多くある。検討状況は。

答弁 将来需要や財政見通しを踏まえて検討していく。

質問 ボールが使えるグラウンドの陳情が2件趣旨採択されている。市民の意見を聴く場を設けるべきだ。

答弁 施設の利便性、市民意見の聴取、財政負担など総合的に判断していく。
意見 市が先に大枠を決めるのではなく、市民の意見を聴くことが先である。スポーツのできるグラウンドの設置を強く求める。

マイナンバー制度始動の今
万全の情報セキュリティ対策を！

納田 さおり(無所属)

情報セキュリティ対策

質問 10月から社会保障・税番号制度が始まるが、情報システムの脆弱性を狙った犯罪が多発している。物理的・人的・技術的な幅広い観点を持った情報セキュリティ対策構築が急務であるが取り組みは。

答弁 西東京市情報セキュリティポリシーを定めて対策を行っている。危機事案発生時には緊急時対応手順に従って対処する。

危機管理室を田無庁舎に

質問 大災害発災時には危機管理部門の迅速な意思決定が重要であり、危機管理室は市長がいる田無庁舎に置くべきだ。保谷庁舎に危

機管理室を残す庁舎統合方針暫定案の見直しを求める。
答弁 市長が災害対策本部設置場所に一刻も早く駆けつけることが重要だ。田無庁舎から防災センターへの移動手段とルートはマニュアルに定められている。
意見 平時に問題がなくても、大災害時には想定を超えた状況が起こる可能性にきちんと向き合うべきだ。

質問 図書館は市民文化の中核

質問 あらゆる世代が利用する中央図書館は利便性の高い場所にあるべきだ。3館合築複合化は交通・面積

圧縮から合理性に欠ける。
答弁 今後も地域の情報拠点としての役割を果たす。

生活困窮者の自立のため家計相談
就労準備支援に取り組み！

後藤 ゆう子(ネット)

質問 4月から生活困窮者自立支援制度が始まったが、相談状況を問う。

答弁 月平均約40人の新規相談を受け付けている。相談内容は、収入・生活費に関する

こと、仕事探し・就職に関する

こと、病気・健康・障害に関する

こと、住居確保、給付金に関する

援一を市の事業として正式に位置づけよ。また、現在行っているひきこもり・ニート対策の居場所利用の対象年齢は29歳までだが、相談については39歳まで受け付けよ。

質問 学校給食における市内産農産物の利用状況を問う。

答弁 40品種以上の市内農産物を利用している。また、平成26年度実績では、青果購入金額の約11%が市内産農産物である。

意見 積極的に利用していることは評価するが、学校によつて利用状況に差がある。差をなくすよう生産者・栄養士などと協議し仕組みを改善せよ。
その他質問等
◇地域の子どもの居場所としての学校施設の活用について
◇消費者行政について



生活サポート相談窓口(保谷庁舎)

傷ついたり子どもの権利救済を
いじめ防止条例に規定せよ

かとう 涼子(ネット)

質問 ひばりが丘公民館の分室化には反対だ。この動きが他館に及ぶことも危惧している。公民館が地域で果たしてきた役割をどう評価しているのか。

答弁 最も身近な学習拠点であり教育機関、交流の場だ。分室化しても変わらぬ活動の場を提供できるように努める。

質問 介護者(ケアラー)への早期支援ツールとして、母子手帳の介護版「ケアラ

ー手帳」を配布せよ。
答弁 家族介護者の負担軽減に努め、支援のあり方についても調査研究する。

質問 市民会館・中央図書館・田無公民館の合築に、基本プラン懇談会委員から

も異論が出ている。市長はどう受けとめているのか。
答弁 担当から報告を受け承知している。
意見 本質的な議論の場が外されているのは大問題。市民合意は不可欠だ。

ふるさと納税受付開始！
本町小・保谷中で小中一貫校を！

たきしま 喜重(みらい)

質問 強く要望してきた、ふるさと納税の受け付け窓口の設置について、市ホームページへ案内を掲載いただいたことをうれしく思う。ふるさと納税による市税減収への今後の取り組みは。

答弁 庁内関係部署による検討組織を立ち上げ、案内をホームページに掲載した。

質問 市内商工農業者との連携支援は大事だ。市内特産品、一店逸品事業、市内産野菜を使ったためぐみちゃんメニューの提供等、食事券の発行、ふるさと納税の返礼品としての商品券事業

の継続なども取り入れてほしい。
質問 小中一貫教育、小中一貫校に期待する声が多い。物的に隣接するのは本町小と保谷中しかないが、実現に向けての見解は。
答弁 年度内に中間報告がまとまる。市の地域特性を踏まえて検討を進める。
その他質問等
◇西武柳沢駅北口3・4・18号線の進捗状況について

◇商店街、商業事業者と連携した防犯カメラの設置について
◇私立小中学校へ通う家庭への補助について
◇庁舎統合と合築複合化について



西東京市の特産品の1つである「保谷梨」

議会への情報提供を適切に行い
市民のための議論と合意形成を！

山崎 英昭(みらい)

市長の政治姿勢を問う！

質問 行政運営と議会、市民への情報提供のあり方に疑問がある。

答弁 適時適切な情報提供を行い、議論を進める。
質問 庁舎統合と市民会館・中央図書館・田無公民館の合築について市民の声を聞け！

質問 庁舎統合について、20万市民の合意を得られたとどのように判断するのか。
答弁 全市民的議論の中で総合的に判断する。

意見 庁舎統合の10年先延ばしは公約違反だ。
質問 3館合築を拙速に進めず、多様な市民の声を反映させる努力をせよ。
答弁 素案作成段階で市民

説明会やパブリックコメントを実施する。
意見 現在の案では田無駅南部地域に市民・文化活動の拠点がなくなってしまう。危険な踏切を拡幅せよ！

質問 ひばりが丘駅西側と田無駅東側の踏切拡幅を。
答弁 ひばりが丘駅西側と田無駅東側の踏切拡幅を。道事業者に要望する。
質問 子育て支援の充実を！
質問 ひばりが丘駅北口地域へ保育園を設置せよ。
答弁 地域型保育事業の設置を検討している。

質問 待機児解消へ幼稚園の預かり保育も充実させよ。
答弁 3歳児の受け皿として預かり保育の充実が必要である。

一般質問 (4)



「西東京市の一店逸品」紹介冊子 (協力:一店逸品事業運営委員会)

質問 一店逸品事業を西東京ブランドに発展させるためにさらなるアピールが必要である。例えば、B-1

示せアピール一店逸品 仮称第10中学校は子どものために

小峰 和美(みらい)

グランプリへの出店。また、松岡修造が井飯をばくばく食べて「ガッツだぜ」と言っていたり、アニマル浜口

「気合いだ」と食べているプロモーションビデオ等が、アピールが効くのではないか。

答弁 平成27年度は、S・Nの活用、お土産品の認定、スタンプラリー、プロモーションビデオの制作等実施する予定。

市民会館の現地建て替えにはNO 行政主導の唐突案は賛成できない

桐山 ひとみ(みらい)

質問 3館合築について、唐突に出された案はいまだ納得も理解もしていない！

答弁 市民会館は耐震改修が必要であり未利用スペースや低稼働施設等が存在する課題もある。現地建て替えの方針とし、近接の中央図書館・公民館との合築複合化の方向性を示している。

意見 図書館は駅前がいい。庁舎は暫定案が出され先送りし、3館合築複合化案が

先行して取り決められている。利用者の意見も聞かず懇談会を設置したが市民合意はどうなのか。

質問 (仮称)第10中学校建設に向けた対応として、基本設計と実施設計を一括発注した業者が民事再生手続をとりスポンサー支援が決まったと報告された。10

中の建て替えには中原小学校とひばり中学校の建て替えとの玉突き方式で建設する予定で今後のスケジュールに問題は無いのか。

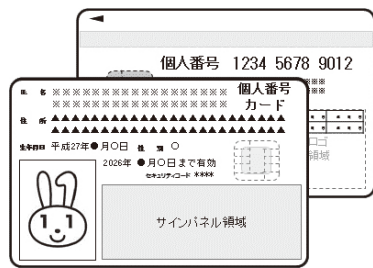
答弁 民事再生の申し立てを行っており、設計業務は継続している。スケジュールに遅れが生じないように管理していく。

いじめは絶対に許さない！ 子供の安心安全は大人が守る！

浜中 のりかた(自民)

質問 いじめ防止対策推進条例の進捗について問う。

答弁 制定の動きと並行し、いじめの未然防止、早期発



申請者に交付される個人番号カード(イメージ)

見、早期対応が各学校で行われるように必要な措置、学校支援、教育相談を進めている。

意見 子供の安心安全を守るため、モンスターペアレント等にも萎縮しないように、教育委員会はしっかりと先生を支援してほしい。

次世代につながる合理的な庁舎建設を！

質問 保谷庁舎の老朽化が激しいが、田無庁舎の耐久年数まで継続使用するという

からかかるのか。

質問 第四次事業化計画の優先整備路線の選定は、

市長 今後都と選定を行う。地権者抜きでは機運の醸成はあり得ない。地権者感情への配慮、周辺への理解を含め丁寧な対応をお願いする。

市民サービス向上について

質問 財政状況が厳しい中、行革の取り組みが重要だ。行政資源の適正配分を実現するために窓口業務などの委託化が必要だ。見解は。

市長 委託化等の導入効果は市民サービスの向上になる。民間活力等の活用に向けて取り組みを進める。

公園行政について

質問 公園を市民の資産と捉え、従来の維持管理型から経営する資産へと公園の管理運営を変革するべき。

(仮称)第10中学校給食について 第四次事業化計画について

田中 のりあき(自民)

質問 学校給食運営審議会から意見が出され、附帯意見として、第10中の建て替えでも利用することから、2年間は自校式での提供が

至当であると判断しているが、教育委員会の考えを問う。また自校式とする際には、校舎内、もしくは敷地内のどこに設置するのか。

教育長 第10中の給食は、審議会の意見を酌んだ上で適切な判断をとる意見がある。本意見を参考として、提供方法の検討を行う。中原小の給食室の設置場所は、校舎内であれば基本プランの中で検討している1階管理室の中、また仮設の場合

は北側の通用門付近を考慮している。

質問 中原小の給食室を校舎内に設置した場合、第10中使用時には、田無三中への提供も可能。その場合には、住吉小、田無小の親校分のコスト削減になる。このような中学校と中学校の親子方式も検討すべきではないか。

教育部長 中学校同士の親子方式については、課題の1つとして考えていく。

質問 都市計画道路3・4・11号線の未整備部分について問う。

市長 三次化路線ではないが、優先整備路線の選定の中で、適切に対応する。

市民参加で進める！ 新しいまちづくり！

酒井 こう一郎(自民)

西武柳沢駅周辺のまちづくりについて

質問 第四次事業化計画の優先整備路線の選定は、

市長 今後都と選定を行う。地権者抜きでは機運の醸成はあり得ない。地権者感情への配慮、周辺への理解を含め丁寧な対応をお願いする。

意見 市民の公園に対するニーズが多様化している。市民参加で実態調査を行い公園の再整備を進めるべき。

その他質問等

◇民有地の緑の保全について

◇商業振興、一店逸品、市民消費喚起事業について

◇都市農業振興について

危険な保谷駅前通りを コミュニティ道路に！

保谷 なおみ(自民)

保谷駅南口の都道233号線の安全対策について

質問 危険な保谷駅前通り(都道233号線)の安全対策としてできることはあるか。

答弁 都市計画道路3・4・12号東町線が整備された際、233号線を安心して買物ができるコミュニティ道路として整備する方向で考えたいが、現時点での安全対策の必要性は、東京都に伝える。

東京消防庁の出前防災訓練について

質問 東京消防庁西東京消防署では、積極的に公園などに出向いて出前防災訓練を行っている。本市の危機管理室の防災講話などと連

携わせるべきと考えるが、意見を問う。

答弁 連携協力していきなり、リーサスの活用について

質問 地方版総合戦略の策定に当たって、国から提供されているビッグデータ、リーサスの活用状況と課題について問う。

答弁 積極的な活用を図る必要があると考えるが、市内のパソコンの性能では、十分閲覧できないのが課題。

その他質問等

◇待機児童対策とランニングコスト増による財政圧迫について

◇公共施設総合管理計画に



一般質問(5)、用語の解説、議会NEWS ①

リレーマラソンについて
市農政、郷土資料室について

小林 たつや (自民)

質問 12月23日に行われるリレーマラソン大会について伺う。

答弁 多摩北部圏域5市の市民のスポーツへの参加機会の提供、健康増進やオリンピック開催に向けた気運醸成を目的として開催する。

質問 市の農政について伺う。

答弁 第2次農業振興計画に基づく施策と国が策定する基本計画との検証を行い、農業の担い手や農地保全等の各課題に取り組む。

意見 農地を残すには、農機具の小屋や作業場がある土地の固定資産税を市長判断で考慮すべきと考える。

質問 西原町の郷土資料室

は、下野谷遺跡などの素晴らしい歴史の遺物等が展示されているが、施設整備や他施設とのコラボレーションについて伺う。

答弁 平成27年度は空調の設置を予定。市の文化財を出前講座のメニューとしたほか、多摩六都科学館や西原自然公園を一つのエリアとして、郷土資料室の利用促進を図っていく。また、6月には多摩六都科学館でミニ企画展が行われた。

意見 遺跡周辺に博物館や資料室をつくるべきと考え。またそこを中心として新たなまちづくりやシティプロモーションを行い、市の魅力アップを図ってほしい。

人口急増地域に交番の誘致を
通学路に防犯カメラで犯罪防止を

遠藤 源太郎 (自民)

質問 新市誕生後、残る課題について市長の抱負は。

答弁 真の健康都市の実現に向けて取り組む。

質問 災害は忘れたころにやってくる。

答弁 市民一人一人の防災意識の向上につなげる。

質問 防犯カメラは犯罪の抑止や解決に有効だ。

答弁 地域の安全対策の強化について調査研究したい。

質問 自転車事故が多発している。安全走行のPRは。

答弁 市報9月15日号の1面を使い、改正された道路交通法をPRする。

質問 市道224号線の改良工事が年度内に終わる。信号機の設置、一方通行の解除

など具体化せよ。
答弁 工事完了後に田無警察署に改めて要望する。
質問 食物アレルギーによるアナフィラキシー対応を市内全ての施設に拡充せよ。
答弁 私立施設が昭和病院とホットラインを開設するための協力をしていく。

質問 小中学生のモラル教育、犯罪に巻き込まれないための生活指導は。

答弁 夏季休業日やその前後は問題行動が顕在化しやすい。家庭や地域と連携した健全育成の必要性を周知するとともに、心の教育の充実、家庭への啓発を図る。

意見 人口急増地域に交番を誘致し安全安心を備えよ。

丸山市長は指導力を発揮して
納税者の声を生かせ

浅野 高司 (自民)

質問 合併時、1千354人の職員に対して、平成26年には981人と37人削減した。人口は当時よりも増加している。職員の負担増では。

市長 経費削減ではなく適正配分の視点からの定員管理に転換し、必要な人材確保に取り組む。

質問 がん検診は、胃・肺・大腸・乳・子宮・喉頭・前立腺は無料であるが、行革プランでは、受益者負担の適正化が検討項目にある。検診を有料化するのか。

市長 喉頭・前立腺がん検診の有料化については総合的に判断する。

質問 田無の会たんぼぼで起きた障害者への暴力事件

について市の対応は。

市長 東京都と連動して適正に対処する。

質問 5月に空き家特措法が全面施行されたが、市民からの相談件数は。また、組織体制の状況は。

市長 施行後、苦情・相談は17件あった。組織体制、予算措置は、検討を進める。

質問 職員昇任制度は、市民サービス・組織力の向上を目指すものと解しているが、課長補佐は今までの経験年数2年から1年で昇格できる。質の低下になるのでは。

市長 副市長、部長が講師となり、実践的な研修等を実施している。

用語の解説

***WiFi(ワイファイ)**
無線でネットワークに接続する技術。

***KDB(国保データベースシステム)**
国保保険者や後期高齢者医療広域連合における保健事業の計画の作成や実施を支援するため、国保連合会が「健診・保健指導」「医療」「介護」の各種データを活用して、統計情報・個人の健康に関するデータを作成するシステム。

***感震ブレイカー**
感震器で検知した地震信号が設定した値を超えたときに、配線用ブレイカー、または漏電ブレイカー等を遮断する信号を出すことで電気を自動遮断する機器システム。

***トワイライトステイ**
保護者が仕事などの理由により平日の夜間または休日不在となり、家庭において児童を養育することが困難な場合などに、児童養護施設、母子生活支援施設、乳児院、保育所などにおいて預かる制度。

***SNS(ソーシャルネットワークサービス)**
インターネット上で人と人とのつながりを促進・支援する会員制サービス。代表的なものとして、Twitter(ツイッター)やFacebook(フェイスブック)などがある。

***リーサス(地域経済分析システム)**
内閣官房及び経済産業省が提供する産業構造や人口動態、人の流れなどに関する官民のビッグデータを集約し可視化するシステム。

議会 NEWS ①

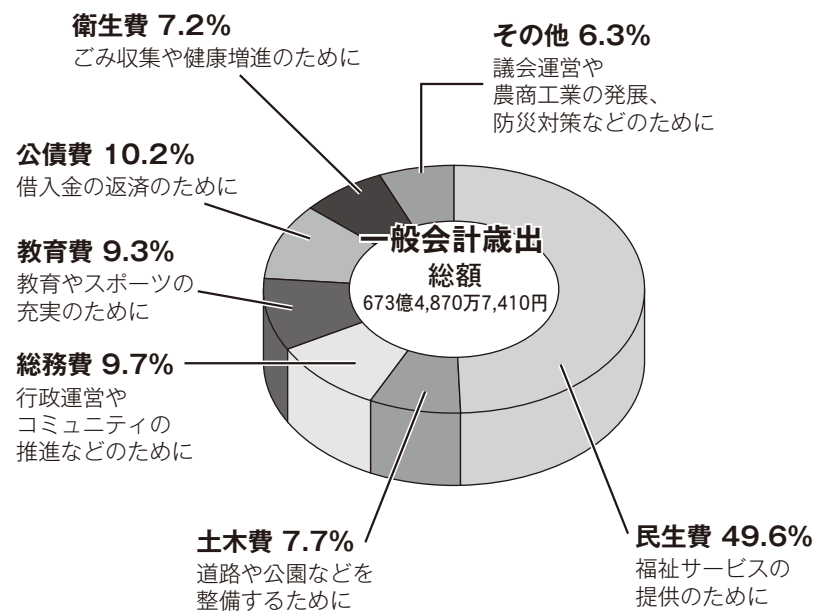
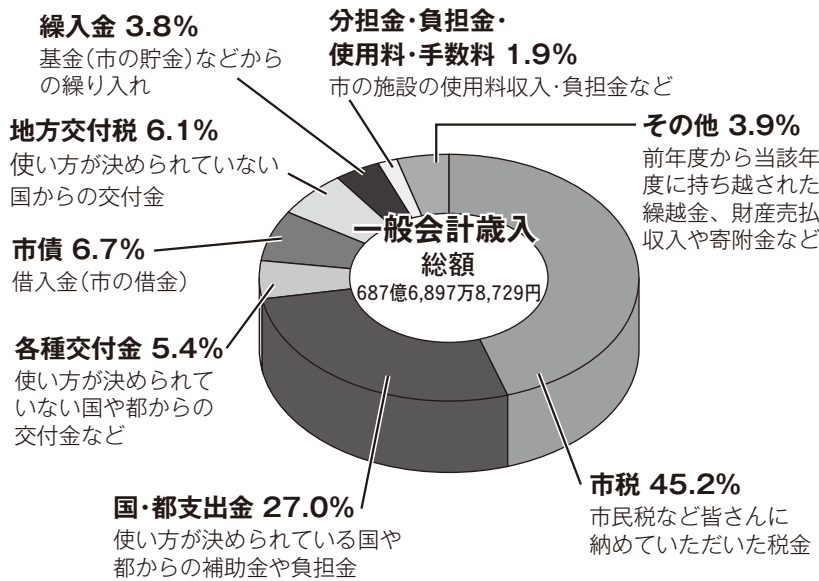
市議会では採択された請願・陳情については、市長や教育長に送付され、その後の検討経過を市議会に報告することとなっています。ここでは平成26年中に採択または趣旨採択された6件のうち、4件について市からの報告をお知らせします。その他2件については、議会だより第65号(平成27年5月15日発行)に掲載しています。

採択された陳情への市の対応

件名	5階建てマンション建設反対、計画変更を求める陳情	精神障害者が親亡き後も安心して暮らせるために滞在型のグループホーム・ケアホームの整備を求める陳情	谷戸新道の西武バス停に屋根とベンチの設置を市として、西武バスに要望することに関する陳情	集中豪雨による道路冠水の解消に関する陳情
採択年月	平成26年3月28日趣旨採択	平成26年9月17日趣旨採択	平成26年9月17日採択	平成26年12月1日趣旨採択
陳情事項	東町2丁目建設される5階建てマンションについて、「西東京市人にやさしいまちづくり条例」に定める開発のあり方から逸脱するとして、マンションの建設反対、計画変更を求めるもの。	精神障害者が住み慣れた地域で安心して生活するために滞在型のグループホーム・ケアホームの整備と精神疾患や精神障害者に対する理解の促進、普及啓発を求めるもの。	「谷戸新道の西武バス停に屋根とベンチの設置」を実現するために、西東京市から西武バスに市民からの要望の提出を求めるもの。	田無第二中学校校庭から流出する雨水による北原町1丁目36番19号から25号、同37番11号から15号、及び同38番22号から24号に挟まれた私道、延長約80m区間の道路冠水の解消を速やかに進めるよう求めるもの。
市の検討結果	マンション建設については、西東京市人にやさしいまちづくり条例の適用を受ける開発事業であることから、近隣住民に対して、丁寧な説明を行うよう事業者に要請いたします。	市内におけるグループホーム整備を進めるため、引き続き、情報提供等の支援を積極的に行ってまいります。その中で、精神障害者対象のグループホームについては、滞在型グループホームを拡充できるよう、民間事業者に対し、積極的に働きかけてまいります。	市内のバス停については、バス事業者に対し、上屋及びベンチの設置に可能な限り配慮いただけるよう文書により要望しました。	学校校庭から周辺道路への雨水流出については、教育委員会への流出抑制対策について引き続き協力を要請しました。
理由	西東京市人にやさしいまちづくり条例において、人にやさしいまちづくりは、市民が安心して安全に暮らせるまちを実現するため、市民、事業者及び市の相互の信頼の下に、協働により行うものとして、基本理念が定められております。このため、事業者から近隣住民に対して更に丁寧な説明が必要と考えられます。	西東京市障害者基本計画(平成26年度～平成35年度)で、次のとおり位置付けております。「何らかの支援を必要とする障害者が少数で居住する形態であるグループホーム等は、障害のある人の地域生活支援の社会資源として重要であり、民間法人による新規参入を誘致するため、情報提供等の支援を積極的に行ってまいります。なお、精神障害者のグループホームについては、通過型だけではなく滞在型の充実についても検討します。」	西東京市交通計画の中で、誰もが便利に移動できる安全・安心な交通まちづくりを基本理念とし、今後取り組むべき交通施策の一つとして、バス交通の利便性の向上を目指すこととしております。	当該地域では、平成16年3月に陳情第5号として「集中豪雨等による道路の冠水災害の解消に関する陳情」として提出され採択となっております。その後、平成17年度～平成18年度にかけて対策を実施しておりますが、近年の異常気象における集中豪雨により学校校庭からの雨水流出による道路冠水が発生しました。そのため、今年度既に教育委員会において一定の対応を行っておりますが、学校校庭からの雨水流出抑制については、引き続き経過観察を行い必要に応じた対応が求められております。

決算・予算特別委員会の審査から、公募写真

平成26年度各会計決算の概要



◆一般会計
 【説明】歳入決算額は687億6千897万8千729円、歳出決算額は673億4千870万7千410円である。

【主な質疑項目】

- ・市民税の分析と今後の動向について
- ・いこいな活動費について
- ・自治会・町内会等活性化補助金について
- ・地域福祉コーディネーターの課題について
- ・保育士等処遇改善補助金について

◆下水道事業特別会計
 【結果】賛成多数で認定

◆国民健康保険特別会計
 【結果】賛成多数で認定

◆中小企業従業員退職金等共済事業特別会計

◆駐車場事業特別会計

◆介護保険特別会計

◆後期高齢者医療特別会計
 【結果】賛成全員で認定

◆がん検診について

◆商工業の振興事業について

◆コミュニティバスの路線見直しについて

◆学校統合事業と相談体制について

◆中学校給食の評価について

平成26年度決算

決算・予算特別委員会の審査から

平成26年度決算と平成27年度補正予算の主な審査内容をお知らせします。

◇質問内容の詳細は会議録に掲載しています。会議録の公開予定等は最終面「第3回定例会会議録の公開予定」をご覧ください。

会計名	予算現額	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	703億8,502万2,000円	687億6,897万8,729円	673億4,870万7,410円
特別会計			
国民健康保険特別会計	200億5,809万6,000円	200億8,140万365円	195億8,988万7,728円
下水道事業特別会計	41億6,981万6,000円	40億4,165万5,376円	40億1,430万4,147円
中小企業従業員退職金等共済事業特別会計	1億2,885万4,000円	1億2,882万5,569円	1億2,027万9,185円
駐車場事業特別会計	1億7,724万8,000円	1億6,062万3,711円	1億5,427万3,940円
介護保険特別会計	140億8,498万3,000円	139億3,509万4,049円	138億495万9,812円
後期高齢者医療特別会計	41億4,009万8,000円	41億5,393万8,620円	41億1,927万3,569円
合計	1,131億4,411万7,000円	1,112億7,051万6,419円	1,091億5,168万5,791円

◆一般会計
 【説明】歳入歳出予算の総額に16億1千805万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ778億8千905万8千円とするもの。

【主な質疑項目】

- ・普通交付税の積算と今後の見直しについて
- ・まちづくり整備基金積立金について
- ・地域福祉基金積立金について
- ・財政調整基金積立金について
- ・認知症支援コーディネーター事業の状況について
- ・アスタ西東京株式会社社員の役員について
- ・一般寄附金及び人にやさしいまちづくり条例による寄附金について
- ・いこいな活動費について
- ・社会保障・税番号制度の対応状況について
- ・地域包括支援センターの状況について
- ・生活保護費について
- ・東京都の教育推進事業6事業について
- ・文化財保護事業費について
- ・東町ポンプ場跡地の整備と今後の対応について

◆下水道事業特別会計
 【結果】賛成多数で可決

◆国民健康保険特別会計
 【結果】賛成多数で可決

◆駐車場事業特別会計

◆介護保険特別会計

◆後期高齢者医療特別会計
 【結果】賛成全員で可決

平成27年度補正予算

～ 公募写真をご紹介します ～



写真募集
 「夕暮れの景色」 撮影：関 和男さん(北原町在住)
 場所：ひばりが丘東本願寺墓地周辺(平成25年12月31日)

平成27年度各会計補正予算の概要

会計名	当初予算額	補正額	補正後予算額
一般会計	762億7,100万円	16億1,805万8,000円	778億8,905万8,000円
特別会計			
国民健康保険特別会計	226億3,378万9,000円	4億9,661万3,000円	231億3,040万2,000円
下水道事業特別会計	34億1,815万8,000円	2,735万1,000円	34億4,550万9,000円
駐車場事業特別会計	1億2,304万6,000円	635万円	1億2,939万6,000円
介護保険特別会計	144億9,110万7,000円	1億4,057万8,000円	146億3,168万5,000円
後期高齢者医療特別会計	42億2,281万7,000円	4,995万1,000円	42億7,276万8,000円
合計	1,211億5,991万7,000円	23億3,890万1,000円	1,234億9,881万8,000円

委員会の審査から、委員会視察REPORT、議会NEWS②

委員会の審査から

議案や皆さんから提出された請願・陳情は、原則として所管の常任委員会等で審査を行います。ここでは、第3回定例会における各委員会での主な審査内容についてお知らせします。◇質疑の詳細は会議録に掲載しています。会議録の公開予定等は最終面「第3回定例会会議録の公開予定」をご覧ください。

企画総務委員会

①「特定個人情報保護条例」
②「個人情報保護条例の一部を改正する条例」

【説明】①市が保有する特定個人情報の取り扱い及び公開請求等に関し、市の条例で定める必要があること。②個人情報保護条例を一般条例として、特定個人情報保護条例はその特別条例としての位置づけになるため、本市の規定の整備をするもの。

【主な質疑】

問 なぜ新規条例にしたのか。
答 個人番号について、厳格な運用を行うために一般個人情報と特定個人情報を1つの条例の中で混在を避け、行政の適切な管理、また、自己情報開示等の権利

通知カード
個人番号 〇〇〇……〇〇〇
氏名 番号花子
住所 △県〇市〇町1-1-1
平成〇年〇月〇日生 性別 女
発行 平成〇〇年〇月〇日 〇市長

個人番号をお知らせする「通知カード」(イメージ)

について明記するため、新規条例とした。
問 住民基本台帳にアクセスする方法は。
答 住民基本台帳ネットワークを利用する場合、特別なカードを利用し、パスワードを入力しなければアクセスできない。

問 本市の保有特定個人情報管理者の責任者は。
答 各システム所管の課長職が責任者となる。

【結果】賛成多数で可決

①「市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例」

【説明】特別職報酬等審議会の答申を踏まえ、平成27年10月から、①市長の給料月額を101万3千円から99万円に、副市長を89万8千円から87万7千円に、常勤の監査委員を69万6千円から67万9千円に、②教育長の給料月額を79万7千円から77万8千円に、③議長の報酬月額を64万2千円から62万7千円に、副議長を57万4千円から56万1千円に、

各委員会委員長を55万7千円から54万4千円に、議員を54万円から52万8千円にそれぞれ引き下げるもの。また、期末手当の支給割合をそれぞれ6月支給分は190/100を202・5/100に、12月支給分は205/100を217・5/100に改め、年間支給月額を0・25月分引き上げて4・20月とするもの。

【主な質疑】
問 なぜこのタイミングで改正するのか。
答 平成21年の改正から5年以上経過していること。また、一般職の給与体系が変わってきていることから現在の社会情勢、市民感情、財政状況などを勘案し、検証する必要があるため、審議会へお願いした。

問 報酬改定の基本的な考え方、基準の考え方は。
答 審議会では、1つ目、平成21年の審議会答申された体系と水準論の考え方を継承して決定するのか、2つ目、部長級の給料をモデルケースで考えるのか、3つ目、部長級の給料に掛ける数値の設定倍率がこれであるのか、この3つの論点で議論をされたこと認識している。基準の考え方は、平成21年の審議会での答申を踏襲し、部長級のモデルケースを採用すること、本市を除く25市の設定倍率、類似団体の設定倍率などを参考に検証した結果、従前の倍率を踏襲することになったものと認識している。

問 市議会の役割や議員の活動状況について、審議会での審議は。
答 議員活動についての資料の要求もあった。議会の概要、委員会の審査状況、会議の開催状況、開催時間

などのオフィシャルな活動としての資料を提出した。それ以外に市の行事など、市から招待を受けている活動もあることを理解いただいた。

【結果】賛成全員で可決

【児童保育費用徴収条例の一部を改正する条例】

【説明】子ども子育て審議会に諮問を行い、審議を重ねた結果いただいた答申の内容を踏まえて提案するもの。

【主な質疑】
問 今後、国基準に保育料を近づけていくのか。また保育料をどの程度まで引き上げる予定なのか。
答 保育料については、行政改革大綱に基づき、審議会の答申をいただいたながら、3年程度で見直したい。

問 保育環境の社会的変化に、市はどのように対応してきたか。
答 待機児対策として、認可保育所を中心に定員の確保、拡充を図ってきた。より一層の認可保育所あるいは地域型保育事業の拡充により待機児童を解消したい。

【結果】賛成多数で可決

文教厚生委員会

【土地の買入れについて】
【説明】(仮称)第10中学校及び(仮称)ひばりが丘三丁目緑道公園用地として土地を買い入れるもの。

【主な質疑】
問 土地取得の予定価格が41億6千241万7千740円ということだが、財源は。
答 地方債とまちづくり整備基金を見込んでいる。

問 公園で遊ぶ子どもたち

の声は中学校の授業に差し支えないか。
答 子どもたちの声を含め、公園なので利用者の声もある程度出ると考える。問題が生じた場合は、お互い公共施設なので、関係部署と連携して対応したい。

【結果】賛成全員で可決

建設環境委員会

【ひばりが丘駅の踏切に関する陳情】
【趣旨】ひばりが丘第1号踏切の状況を改善すること求めるもの。

【市からの説明】市と鉄道事業者は、踏切内の歩道箇所のカラー舗装や白線の設置などの速効対策のほか、ひばりが丘駅南口のバリアフリー化などの安全対策を講じてきた。現在は、ひばりが丘駅北口にエレベーター及びエスカレーターを設置するため鉄道事業者と協議中であり、実現可能な事業に取り組んでいる。

【主な質疑】
問 鉄道の立体交差化は引き続き要望していくのか。
答 事業主体の東京都に引き続き鋭意要望していく。

【結果】賛成少数で不採択



議会 NEWS ②

平成26年度の視察受入状況を報告します

市議会では、当市の先進的、独自性のある各種事業について、毎年、全国の地方議会議員による行政視察を受け入れています。平成26年度は、下表のとおり合計4団体を受け入れました。

月日	受入団体	視察目的
5月7日	埼玉県所沢市	振り込め詐欺対策
7月8日	福島県会津若松市	生涯学習政策
8月6日	佐賀県唐津市	障害者総合支援センター
8月12日	東京都羽村市	ささえあいネットワーク事業

委員会視察 REPORT

企画総務委員会

日程・視察先 10月15日 兵庫県尼崎市
10月16日 大阪府池田市
報告者 企画総務委員長 酒井 ごう一郎
参加委員数 9人

兵庫県尼崎市

「シティプロモーションの推進」について
尼崎市では、まちの活力の維持・向上を図るための取り組みとして「尼崎を好きな人を増やすこと」をコンセプトに「尼崎版シティプロモーション推進指針(あまらぶ大作戦)」を策定し、①現在ある魅力のさらなる向上、②新しい魅力の発掘・創造、③マイナスイメージ(過去に起きた公害)

の払拭、④まちの課題への対応の4つの視点で取り組みを進めている。

大阪府池田市

「総合窓口業務の民間委託」について

池田市では、住民異動に伴う諸手続きにかかる時間を短縮し、効率的かつ市民満足度を高めるようなサービスを提供するため、平成21年5月に総合窓口を開設。その後、行財政改革に伴い職員数が減る中で、簡素で効率的なサービスが求められるようになり、安定した市民サービスの提供と組織のスリム化による人件費等の圧縮を図り、平成23年7月1日から総合窓口の業務委託を開始した。

決議、議会NEWS③～⑤

「市民会館、中央図書館・田無公民館合築複合化については、時間をかけ慎重に検討することを求める決議」を賛成多数で可決

西東京市議会では、本会議最終日の9月30日に市民会館、中央図書館・田無公民館の3館合築複合化について、市民参加や議会議論を重ね、時間をかけて慎重に検討することを求める内容の決議を賛成多数で可決しました。

現在、市民会館、中央図書館・田無公民館を合築複合化し、現市民会館敷地に建てかえるため、「西東京市合築複合化基本プラン策定懇談会」が設置され、検討が行われている。

しかしながら、この間の議会審議において、3館合築複合化の是非や場所についての議論はもとより、施設の規模・内容についてなどさまざまな角度からの意見や疑問点が示された。

つけ加えて述べるなら、これまでの行政の取り組み対応は拙速と言わざるを得ない。

西東京市民にとって、また西東京市の将来にとって大変重要なこれらの施設のあり方については、議会で慎重に議論を重ねるとともに、市民合意に向けた努力が必要だ。

執行部は本年12月から1月をめどに基本プランを策定するとしているが、このままでは市民、利用者間に無用な混乱を招きかねないと懸念するところである。

したがって、西東京市議会として、市民会館、中央図書館・田無公民館の3館合築複合化については、さらに市民参加や議会議論を重ね、策定期間に固執せず、時間をかけて慎重に検討することを求める。

以上、決議する。

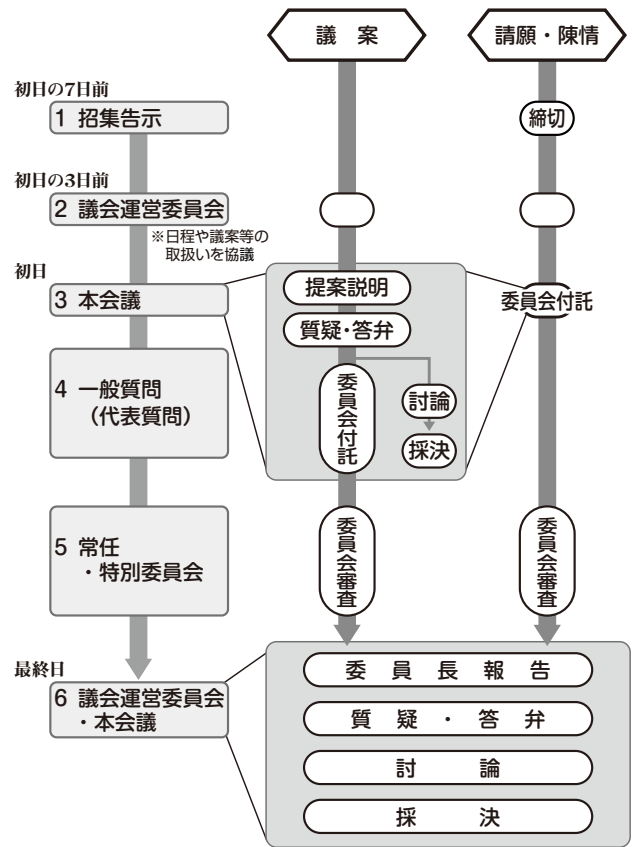
平成27年9月30日

西東京市議会

議会 NEWS ③

市議会の流れ

市議会ではどのように審議・審査が行われているかをご理解いただくため、ここでは、定例会での一般的な流れをご紹介します。定例会は、田無庁舎において毎年4回(3月、6月、9月、12月)開催されます。特定の案件について必要がある場合には臨時会が招集されます。



- 1 招集告示
2 議会運営委員会
3 本会議
4 一般質問(代表質問)
5 常任・特別委員会
6 議会運営委員会・本会議

※以上は、定例会での一般的な流れを説明したものです。

議会 NEWS ④

議会の傍聴しませんか

市議会で開催される本会議・委員会は、どなたでも傍聴できます。ここでは傍聴の手順をご案内します。

Step1



最初に、田無庁舎議会棟3階にある、議会事務局受付までお越しください。

Step2



受付で傍聴届にお名前、ご住所をご記入いただいた後、傍聴証を受け取ってください。

Step3

本会議は3階議場、委員会は4階委員会室(第1～第3委員会室)で開催します。

Step4

傍聴後は、議会事務局に傍聴証をご返却ください。

議会 NEWS ⑤

大好評♪ 第4回議場コンサート

●開催日時/8月31日(月)午前10時から ●開催場所/議会棟3階 議場 ●演奏者/東京ニューシティ管弦楽団(弦楽四重奏)

平成22年に初めて開催してから、今回で4回目となる「議場コンサート」を開催しました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、84名の幅広い年齢層の皆さんがお越しくださいました。

演奏は、東京ニューシティ管弦楽団の弦楽四重奏。平成2年に発足し、創立25周年を迎える楽団で、こもれびホールでのコンサートなど、市の文化・芸術の振興に大変貢献されています。

演目は、モーツァルトのアイネ・クライネ・ナハトムジークを皮切りに、ハイドンの弦楽四重奏曲「ひばり」など全5曲、約30分の演奏が行われました。アンコールでは、市歌「大好きです、西東京」が演奏され、弦の美しい音色が議場に響きわたりました。

今回のコンサートで、初めて議場にお越しになった方も多く、このイベントが、議会を身近に感じていただけるきっかけとなったならば幸いです。

皆さんのコンサートの感想は？

当日65名の方がアンケートにご回答くださいました。ご協力ありがとうございました。

Q1. 曲目や演奏はいかがでしたか？

よかった 90.7% ふつう 7.6% よくなかった 0%
【主な感想】
・とてもよかったです。議会も身近に感じられるようになりました。

Q2. 議場コンサートの開催は、どのようにお知りになりましたか？(複数回答)

1位 市報 70.7%
2位 議会だより 16.9%
3位 ポスター 10.7%

Q3. 年代は？

1位 70代 44.6%
2位 60代 34.3%
3位 80代 4.6%

Q4. 西東京市議会に望むことは？(複数回答)

1位 市民が議会に関心をもち、参加しやすくなること 46.1%
2位 議会の情報を積極的に発信すること 44.6%
3位 市民と議員の意見交換の場を設けること 30.7%

Q5. これまでに市議会にお越しいただいたことはありますか？

はい 32.3%(複数回答) いいえ 66.2%
...市議会の傍聴 10.7%
...議場コンサート 23.0%
...その他 0%

※全ての回答を表記していないため、回答総数と一致しない場合があります。

